

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 県民ふれあい会館設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 文化創造課 文化施設係 電話番号：058-272-1111(内3118)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,258,716 千円 (前年度予算額： 1,392,293 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,392,293	0	0	0	0	0	0	1,249,300	142,993
要求額	1,258,716	0	0	0	0	0	0	1,131,300	127,416
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県県民ふれあい会館は、建設後約 31 年が経過し、同時に整備された各種設備も老朽化が激しく、耐用年数を超過しているものも多い。そこで、各設備の個別の状況を勘案し、工事もしくは工事に必要な計画策定・設計積算を実施する。

- ①②空調設備 (熱源) 改修工事
老朽化している空調設備の熱源機器を省エネ性能にも優れた設備に更新する。
令和 4 年度に実施設計済みであり、これを基に工事を行う。
また、複雑な空調システム改修であることから工事監理業務の委託を行う。
- ③昇降機設備 (エスカレーター) 改修工事
部品の製造が令和 8 年度に終了するため、計画的に改修が必要。
- ④吊物機構修繕工事
サランカホール及びアトリウムにある吊物機構の制御盤・操作盤等の劣化が激しいため改修を行う。
- ⑤照明設備改修工事 (2 期) 実施設計
照明設備の LED 化対応及び老朽化対応のため改修を行う。
令和 6 年度の実施設計を基に単価見直し等を行う。
- ⑥照明設備改修工事 (2 期工事)
照明設備の LED 化対応及び老朽化対応のため改修を行う。
令和 8 年度に追加で実施設計予定であり、これを基に第 1 棟の改修工事を行う。
- ⑦防犯設備更新改修工事基本・実施設計
入退室管理システムの老朽化が進んでいるため、安全確保のため改修を行う。
- ⑧サランカホール舞台照明改修工事実施設計
照明設備の LED 化に対応するため、改修工事に向けた実施設計を行う。

(2) 事業内容

- ①空調設備改修工事
- ②空調設備改修工事工事監理業務
- ③昇降機設備（エスカレーター）改修工事
- ④吊物機構修繕工事
- ⑤照明設備改修工事实施設計（2期工事の追加設計）
- ⑥照明設備改修工事（2期工事）
- ⑦防犯設備更新改修工事基本・実施設計
- ⑧舞台照明改修工事实施設計

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	1,263	・空調設備改修工事及び空調設備改修工事工事監理業務（事務費） ・照明設備改修工事及び照明設備改修工事实施設計（事務費）
消耗品費	980	・空調設備改修工事及び空調設備改修工事工事監理業務（事務費） ・照明設備改修工事及び照明設備改修工事实施設計（事務費）
燃料費	900	・空調設備改修工事及び空調設備改修工事工事監理業務（事務費）
役務費	900	・空調設備改修工事及び空調設備改修工事工事監理業務（事務費）
委託料	67,745	・空調設備改修工事 工事監理業務 ・照明設備改修工事 実施設計 ・サラムンカホール舞台照明設備更新工事 実施設計 ・防犯設備更新改修工事基本・実施設計 ・昇降機設備（エスカレーター）改修工事 工事監理業務
工事請負費	1,186,928	・空調設備改修工事 ・昇降機設備（エスカレーター）改修工事 ・吊物機構修繕工事
合計	1,258,716	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定予定

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定している

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・引き続き空調設備改修工事を実施し、令和8年度までに老朽化した設備を更新する。
- ・エスカレーター改修工事を実施し、安全性を確保する。
- ・吊物機構を修繕し、施設の安全性を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

施設の改修に係る業務であり、定量的な指標で表すことが困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 昇降機設備改修、給湯設備更新、排煙設備修繕、ゴンドラ設備修繕など、様々な設備修繕を行った。これらにより、会館利用者に安心・快適に施設を利用いただける環境を整備した。
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 電気設備更新基本計画及び基本設計作成業務委託、昇降機設備改修工事など、様々な設備修繕を行った。これらにより、会館利用者に安心・快適に施設を利用いただける環境を整備した。
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 昇降機設備改修、サランカホール客席改修工事など、様々な設備修繕を行った。これらにより、会館利用者に安心・快適に施設を利用いただける環境を整備した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	指定管理制度を導入するにあたり、施設の大規模改修等については、県の負担とされている。 (負担区分：修繕：60万円以上、備品：10万円以上は県負担)
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	計画的に修繕を実施することで、故障時の対応が容易にでき、公演休止やホールの休館等を防ぐことができる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位を聴き取りながら、計画的に実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各種設備の経年劣化がすすむ中で、要修繕事項が増加してきている。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 設備の劣化状況に鑑み、計画的に修繕を実施していくほか、大規模な改修については財政当局と協議をしながら、円滑な施設の維持管理を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	<div style="text-align: right;">【〇〇課】</div>
組み合わせる理由 や期待する効果 など	